

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸

## 目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 02 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	近隣に民家が少ない高台にあるので、9人の利用者(3人は、2階)全員を、夜勤者1人で、避難場所まで誘導することの困難さを実感し、併設施設の職員や、消防署との連携を密に図り、利用者全員が安全に避難出来る体制を確保していく。	夜間想定避難訓練を、目標タイムを設定し、達成できるまで訓練し、夜勤者が自信を持って、利用者全員を避難出来る体制を築いていく。	12ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保	職員の介護技術に個人差があるので、利用者と同じサービスの提供をしても、利用者の反応が違ってくるので、職員の意識の高揚と、介護技術の向上を目指していく。	職員を外部の研修に派遣し、外部の刺激を受け、意識改革し、グループホームで働く意義を理解し、介護技術の向上を図り、利用者の重度化に対応出来る体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。